

**新製品**

**エコキュート架台専用型枠**

**ヒロベース**



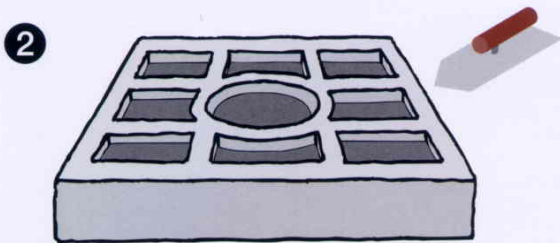
- エコキュート架台の永久型枠です。
- ガラス繊維補強コンクリート（GRC）製です。
- 持ち易い形状と1人で運べる重量を実現しました。
- 工期短縮（硬化を待つ必要なし）経済的です。
- 安定性抜群!!

# エコキュート架台専用型枠

# ヒロベースの設置例



1  
施工面を十分締め固めてならし、エコキュート設置場所にヒロベースを置きます。

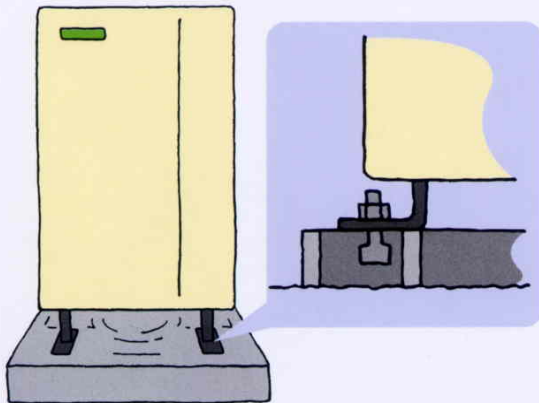


2  
コンクリートを流し込みます。



3  
アンカーボルトを差し込んだエコキュート本体をのせます。

4-1  
(本体の足がヒロベース格子部に安定してのる場合)

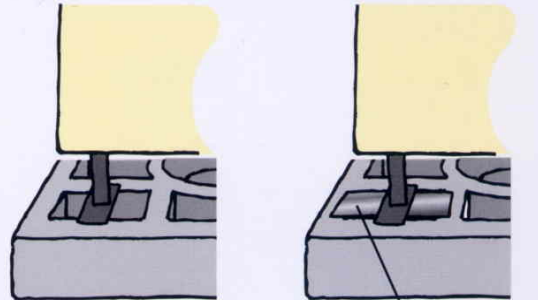


コンクリート硬化後、ボルト締めし、完成です。

※コンクリートを後で流し込む方法も  
ございます。(2と3の工程を逆にした方法)

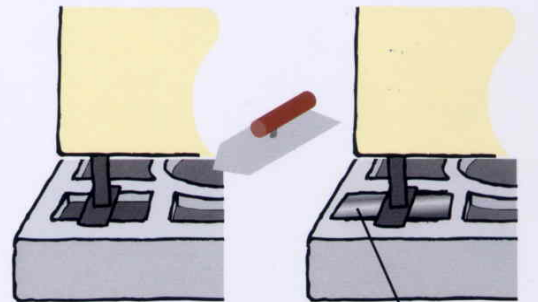
■本体の足がヒロベース格子  
子部に安定してのる場合

■本体の足がヒロベース格子  
部に安定してのらない場合



●アンカーボルトを差し込んだ  
エコキュート本体をのせます。

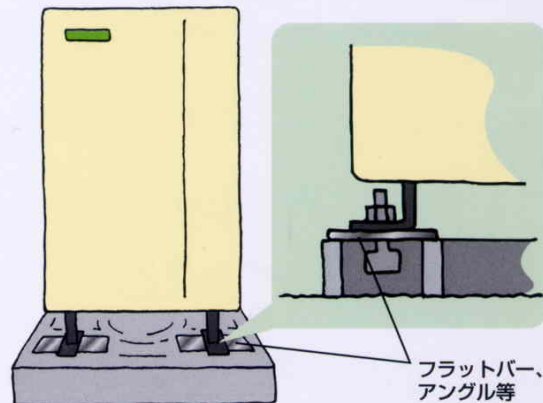
フラットバー、  
アングル等



●コンクリートを流し込みます。

フラットバー、  
アングル等

4-2  
(本体の足がヒロベース格子部に安定してのらない場合)



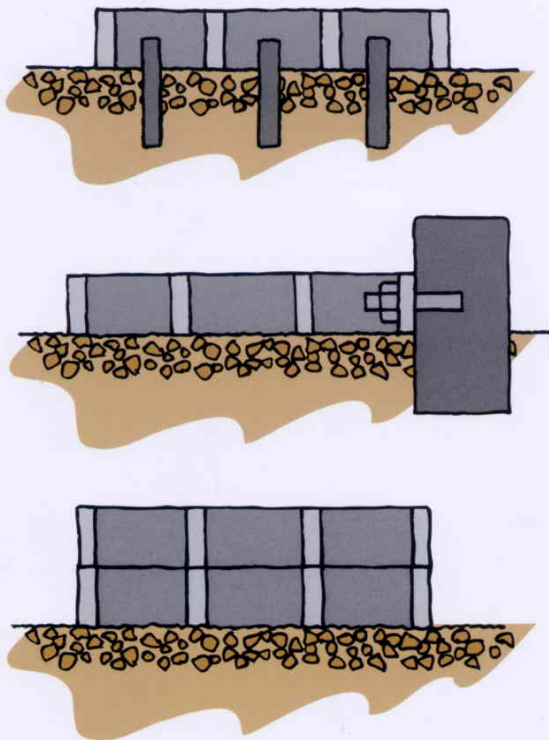
フラットバー、  
アングル等

フラットバー、アングル等をして本体を置きます。  
コンクリート硬化後、フラットバーを引き抜き、  
本体を降下させボルト締めし、完成です。

※型枠設置後のズレ防止、軟弱地盤の傾き防止に、鉄筋やパイプの使用は効果的です。

配管等で鉄筋やパイプを使用できない場合は、建物の基礎に固定することもできます。

また、二段重ねも有効です。



注) 打設したコンクリートが硬化するまで、雨、風を避けるためシート等で養生してください。

※ヒロベースの設置場所は15cm程度掘り起こし、少なくとも5cm程砂利を入れ転圧しレベルを出してください。

※他にも使用方法はございます。

## 使用材料

おすすめします…

**水を加えて練るだけ!**

コウエイの**ドライコンクリート**



### 〈特徴〉

1. 水を加えてよく練るだけ。  
(現場での計量・清掃を省力化)
2. 砂に珪砂を使用しているため、品質変動が極端に小さく、また高い強度を実現。
3. 砕石を使用。
4. 生コン車が入れない、及び少量使用の現場に最適です。

ヒロベース I-80の場合……………約2袋  
ヒロベース I-100の場合……………約3袋  
ヒロベース IIの場合……………約3袋  
必要となります。  
(良く混練して使用してください。)

★1袋25kgに対し、水3.0kgを使用すると、1カ月後約28N/mm<sup>2</sup>の強度が出ます。  
(20℃試験室実績)

